
S?

悦威カイ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

S?

【Nコード】

N4815Y

【作者名】

悦威カイ

【あらすじ】

S? (エススリー)

カッコ悪い名前とかは禁句ですヨ

ショートショートストーリー集です(あれ??)

ごちゃごちゃコナン集の気儘更新です。

(もしかしたら、BL、GLも投稿するかもですが…前書き説明入れますのでご安心を…)

白、（前書き）

志↓新蘭

元に戻っています。

白、

「はあ」

ひとつ、息を吐いた。
ふわりと白く染まった息は灰色の空へ吸い込まれるように消えて行った。

「寒…」

呟く様に、溢すと
ポケットに突っ込んでいた手に、息を吹きかけた。

ライトアップされた景色を見ながら、また息を吐く。

「宮野」

ふと、声のする先に振り向く

「あら、工藤君…それに…」

ふつと微笑を浮かべ

「蘭さん」

彼の隣に映る、女性へと目を向ける。

「どうしたんだ？お前…こんなくそ寒いのに」

優しさを向けられる。

「別に…」

いま、私が苦悩しているなんて思わないでしょうね
だって私は笑顔を

「ヒトを待っているだけよ」

装備してるのだから。

「あ、そうか…」と言つかのように頷き、

「寒いんだから、風邪ひくなよ、」と優しく声をかけられる。

「そうね」

しかし、その優しさ全ては…

「相棒」へ送る優しさなのだから…

「貴方たちもほどほどにね」

苦しくても…

「宮野さんっ…！別にそんなんじゃない…」

「あら、隠さなくてもいいじゃない？」
「お前…ホント…」

幸せになつていく貴方の近くに…
居れる幸福。
友人の特権。

別にそう…辛くはない…

「悪い、遅くなった」

待ち人来る。

私の選んだ人。

「え、ど…どしたの…？」

広い胸に身をひそめて、

「ただちよつと…」

寒さに凍えながら、白く

「寂しくて……」

視界が染まっていくのを感じ、

「甘えたくなっただけよ」

そつと、呟いた。

白、（後書き）

志保ちゃんの相手はよく分かんねえで書いてます。
さあ、誰？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4815y/>

S?

2011年11月17日18時44分発行